はじめに

１　この陳述書は，調停・審判のための資料として提出していただくものです。

２　陳述書には，設定事項に沿って事実関係をできる限り詳しく記載してください。また，記載した事実を確認できる資料があれば，同資料を陳述書と一緒に提出してください。特に，陳述書の末尾に掲げられた資料については，必ず提出してください（相手に関する資料については，準備できる範囲で提出してください。）。

なお，提出済みの資料を重ねて提出する必要はありません。

　　陳述書には，相手に関する部分も分かる限り記入してください。また，添付資料から分かる事情であっても，事情を不足のないように確認する意味もありますので，省略せずに記入してください。

３　陳述書及び添付資料は，仙台家庭裁判所調停係に，（□次回期日の２週間前　　□令和　　　年　　　月　　　日）までに到着するよう提出してください。

提出する部数は，陳述書及び添付資料ともに，裁判所用１通ずつ，相手用１通ずつです。コピーして準備してください。

提出した陳述書及び添付資料は，相手が見ることになりますので，相手に見られたくない情報は記入しないか，マスキングした上でコピーしたものを提出してください。また，源泉徴収票，確定申告書等を提出する場合には，マイナンバーの記載のないものを提出してください。

以　上

※　該当する□にチェックし，空欄に記入してください。

仙台家庭裁判所　令和　　　年（家　　）第　　　　　　　　号

陳　　述　　書

作　成　日　令和　　　年　　　月　　　日

作成者氏名　　　　　　　　　　　　　　印

１　別居など

夫と妻は，平成・令和　　年　　月　　日に婚姻し，

□平成・令和　　年　　月　　日から別々に生活しています。

□今も同居しています。

２　経歴

 (1) 夫の経歴

①　最終学歴　□高卒　□大卒　□専門学校卒　□その他

② 資格

③　主な職歴

(2) 妻の経歴

①　最終学歴　□高卒　□大卒　□専門学校卒　□その他

② 資格

③　主な職歴

３　収入（所得税や社会保険料等を控除する前のもの。手取りではありません。）

　(1) 夫の主な収入

①　□パート　□派遣社員　□会社員　□自営　□その他

　　②　仕事の内容

③　仕事に就いてからの期間

④　年収　　　　　　　　　円（月収　　　　　　　　　円）

（給与のときは源泉徴収票写し，自営のときは確定申告書写しを添付してください。給与明細書写しは年度途中で就職した場合など源泉徴収票では収入を示すことができないときに添付してください。）

⑤　仕事について特に補足することは次のとおりです。

　　（例：収入の増減がある，今後退職予定であるなど）

 (2) 妻の主な収入

①　□パート　□派遣社員　□会社員　□自営　□その他

　　②　仕事の内容

③　仕事に就いてからの期間

④　年収　　　　　　　　　円（月収　　　　　　　　　円）

（給与のときは源泉徴収票写し，自営のときは確定申告書写しを添付してください。給与明細書写しは年度途中で就職した場合など源泉徴収票では収入を示すことができないときに添付してください。）

⑤　仕事について特に補足することは次のとおりです。

　　（例：収入の増減がある，今後退職予定であるなど）

(3) 無職のとき

（□夫□妻）は，平成・令和　　年　　月　　日から，　　　　　　　　　のため，仕事に就いていません。（病気を理由とするときは，診断書写しを添付してください。）

ただし，□年金　□失業保険　□生活保護　□　　　　　　　　により，毎月　　　　　　　　　円程度の収入があります。

（収入の種類に応じて，年金証明書写し，失業保険証明書写し，生活保護受給証明書写しなどを添付してください。収入がないときは，（非）課税証明書を添付してください。）

(4) 就職予定のとき

（□夫□妻）は，令和　　年　　月　　日から，仕事に就く予定です。

①　□パート　□派遣社員　□会社員　□自営業　□その他

　　②　仕事の内容

③　年収　　　　　　　　　円（月収　　　　　　　　　円）

（雇用契約書写しなど収入の見込みが分かる資料を添付してください。）

④　仕事について特に補足することは次のとおりです。

　　（例：収入の増減がある，今後退職予定であるなど）

４　生活状況

(1) 夫について

①　夫の住んでいる場所

□夫婦で生活していた住居　□別居後の新住居

□（□夫□妻の）実家　　　□その他

②　夫が同居している自身の子供は次のとおりです。

名前　　　　　　　年齢　　　歳　学校等　　　　（例：年長，小１，中２など）

名前　　　　　　　年齢　　　歳　学校等

名前　　　　　　　年齢　　　歳　学校等

名前　　　　　　　年齢　　　歳　学校等

③　夫が自身の子供以外に同居している者は次のとおりです。

（例：父，母，姉，姉の子など）

(2) 妻について

①　妻の住んでいる場所

□夫婦で生活していた住居　□別居後の新住居

□（□夫□妻の）実家　　　□その他

②　妻が同居している自身の子供は次のとおりです。

名前　　　　　　　年齢　　　歳　学校等　　　　（例：年長，小１，中２など）

名前　　　　　　　年齢　　　歳　学校等

名前　　　　　　　年齢　　　歳　学校等

名前　　　　　　　年齢　　　歳　学校等

③　妻が自身の子供以外に同居している者は次のとおりです。

（例：父，母，姉，姉の子など）

(3) 住宅ローンについて（返済しているとき）

（□夫□妻）は，（□夫が居住している住居　□妻が居住している住居）の住宅ローンを，次のとおり返済しています。

（住宅ローン契約書写し，住宅ローン返済明細表写しなどを添付してください。）

金融機関名

借入日　　　平成・令和　　年　　月頃

当初借入額　　　　　　　　　　　　円

現在残額　　　　　　　　　　　　　円

返済方法　　毎月　　　　　　　　　円，ボーナス月　　　　　　　　　円

 (4) 私立学校の学費について（子供が通学しているとき）

（学費が分かる資料写しを添付してください。）

子供の　　　　　　（名前）は，平成・令和　　　年　　　月から，私立学校

の　　　　　　　　　　　（学校名）に通学し，年間平均　　　　　　　　　　円の学費を要しており，この学費は（□夫□妻）が支払っています。

子供の　　　　　　（名前）は，平成・令和　　　年　　　月から，私立学校

の　　　　　　　　　　　（学校名）に通学し，年間平均　　　　　　　　　　円の学費を要しており，この学費は（□夫□妻）が支払っています。

５　婚姻費用の支払状況

　(1)（□夫□妻）が支払ってきた婚姻費用は次のとおりです。

・平成・令和　　年　　月～平成・令和　　年　　月　毎月　　　　　　　円

・平成・令和　　年　　月～平成・令和　　年　　月　毎月　　　　　　　円

・平成・令和　　年　　月　　日に　　　　　　　円

・平成・令和　　年　　月　　日に　　　　　　　円

(2)（□夫□妻）は，平成・令和　　年　　月から，婚姻費用を支払っていません。

６　支払を求める婚姻費用

　(1)（□夫□妻）が，（□夫□妻）に支払を求める婚姻費用は，令和　　年

　　月から毎月　　　　　　　円です。

(2) 上記(1)の金額の婚姻費用の支払を求める理由は次のとおりです。

７　支払うことができる婚姻費用

　(1)（□夫□妻）が（□夫□妻）に支払うことができる婚姻費用は，令和　　年　　　月から毎月　　　　　　　円です。

　(2)上記(1)の金額以上に婚姻費用を支払うことができない理由は次のとおりです。

８　私（□夫□妻）の主張

以　上

※　提出するものについて，□にチェックし，空欄に記入してください。

添付資料

１　自身の収入に関する資料（該当するものを必ず提出）

(1) 給与収入があるとき

□源泉徴収票写し（手元にないときでも会社から取得して必ず提出してください。）（□提出済み）

□給与明細書写し（年度途中で就職した場合など源泉徴収票では収入を示せないとき）（□提出済み）

(2) 給与以外の収入があるとき

□確定申告書写し（収支内訳書を含む。）（□提出済み）

□年金証明書写し（□提出済み）

□失業保険証明書写し（□提出済み）

□生活保護受給証明書写し（□提出済み）

(3) 現在収入がないとき

□（非）課税証明書（収入がないことを示すものになります。）（□提出済み）

□診断書写し（就労が難しいことを示すもの）（□提出済み）

□雇用契約書写し（収入の見込みが分かるもの）（□提出済み）

２　住宅ローンに関する資料（返済しているとき）

　　□住宅ローン契約書写し（□提出済み）

□住宅ローン返済明細表写し（□提出済み）

□その他　　　　　　　　　　　　　　　　　　（□提出済み）

３　私立学校に関する資料（子供が通学しているときに学費が分かるもの）

　　□　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（□提出済み）

　　□　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（□提出済み）

４　その他の資料

　　□　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（□提出済み）

　　□　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（□提出済み）

以　上